

取扱いの趣旨

「P」病名のみでは、暫間固定装置修理の算定要件に合致しないことから、当該処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《平成28年2月29日》

40 暫間固定装置修理

○ 取扱い

原則として、「P」病名のみにおいては、暫間固定装置修理の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

暫間固定装置修理の算定にあたっては、対象となる診療内容についての要件が定められており、また、傷病名として「ハセツ」病名があることから、「P」病名のみでの当該処置の算定は適切でない。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

暫間固定装置修理を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（Pに対して暫間固定装置修理を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、暫間固定装置修理が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

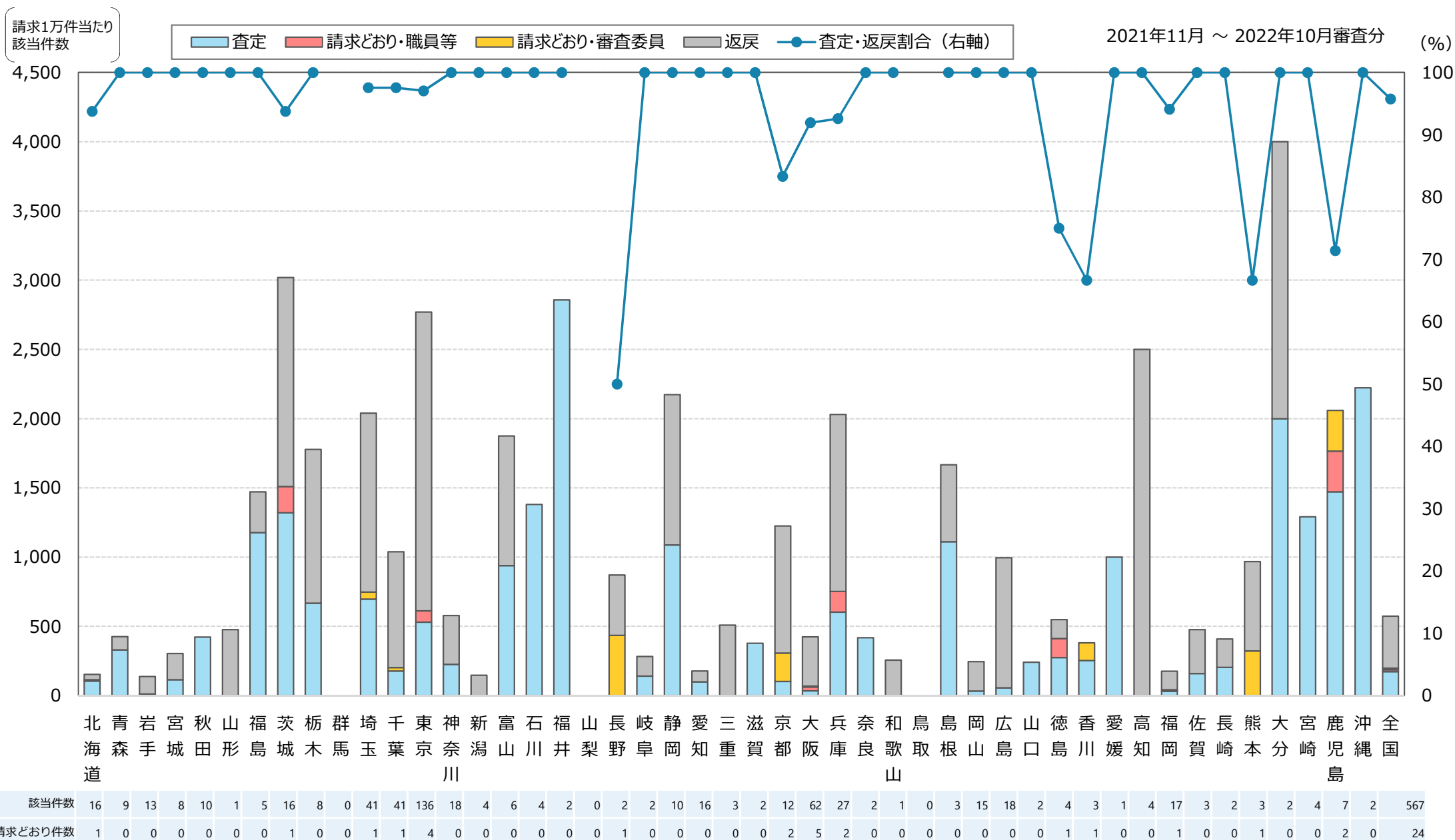
- 全国の査定・返戻割合 95.77%
- 検証を必要とする都道府県 2

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	鹿児島、京都	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	鹿児島	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	鹿児島、京都	//

該当件数（全国）	Pに対して暫間固定装置修理を算定	567件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	543件
検証を必要とする審査	請求どおり	24件

事例40 「P」のみに対する暫間固定装置修理の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 Pに対して暫間固定装置修理を算定しているレセプト件数